



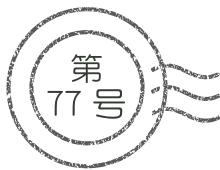
長尾よかだより

発行日／2018年4月 発行元／医療法人 順和 理事長／服部 文忠

目次

- 表紙 シリーズ5 糖尿病の診断や治療のための検査（2）
P2 「いきいきセンターふくおか」（地域包括支援センター）
P3 「出張講話」をご活用ください

- P4 最新ロボットを活用したリハビリテーション（歩行訓練）
P5 2016年度“ながお基金”表彰報告
アビスパ福岡を応援しています

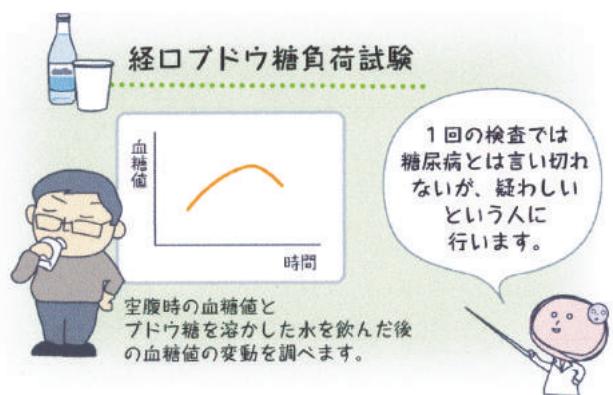
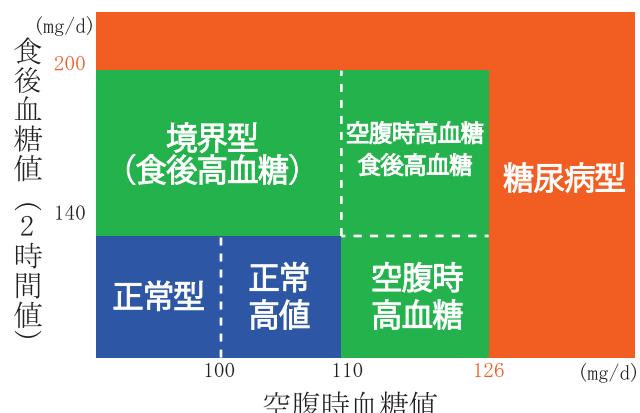


シリーズ5 糖尿病の診断や治療のための検査（2）

理事長 服部 文忠

前回は糖尿病の診療に必須である血糖とHbA1cについて解説しました。糖尿病と診断されていないが、血液生化学検査中の血糖が高いと指摘された場合や、人間ドックの結果で糖尿病が疑われた場合はどうしたらよいでしょうか？

なるべく1ヶ月以内に血糖とHbA1cを同日に検査する必要があり、その結果によって糖尿病と診断されるか、または、糖尿病の疑いとなります。



▲糖尿病特集サイト [メディマグ・糖尿病] (<http://dm.medinmag.jp/>) イラスト転載

空腹時血糖が126 mg/dl以上または随時血糖（食後）が200mg/dl以上を示し、かつHbA1cが6.5%以上であれば糖尿病と診断されます。

糖尿病とは言えない場合は3ヵ月後に再び血糖とHbA1cとを検査することを勧められます

が、75gOGTT（75g経口ブドウ糖負荷試験）を受けるほうが早く決着がつきます。空腹のままで来院していただき、採血し、ブドウ糖75gを水にとかしたもの（飲みやすい製剤があります）を飲んで、30分・1時間・2時間と採血し、血糖を測定します。結果により、糖尿病・境界型・正常型と判定されます。30分後と1時間後の血糖は直接判定には使われませんが、参考になります。

具体的にいいますと、空腹時血糖が110～125 mg/dl、随時血糖が140～199mg/dl、HbA1cが6～6.4%の場合は75gOGTTが強く勧められます。高血圧、肥満などがある、空腹時血糖が100～109mg/dl、HbA1cが5.6～5.9%の場合は機会をみて75gOGTTを受けることが勧められます。また、濃厚な糖尿病の家族歴を持つ方も受けたほうがよいでしょう。境界型は糖尿病に準ずる

（次ページへ）

状態ですので、糖質の制限・肥満の解消・運動など生活習慣の改善に努める一方、3～6か月に1回程度糖尿病の検査を行い、糖尿病に移行していないか、または改善がみられるかなど評価していく必要があります。

糖尿病と診断された場合は治療となるわけですが、必ずしも内服薬やインスリン注射が始まるわけではありません。治療については

またの機会に述べますが、生活習慣の改善だけで治療が十分という方もおられます。

当院では、糖尿病の検査や食事療法、運動療法を理解していただくために月に1回「日帰り糖尿病教室」を開催しておりますので、ぜひご参加ください。

**日帰り糖尿病教室のお問合せ
電話 092-541-2035**

「いきいきセンターふくおか」(地域包括支援センター)

福岡市南第11地域包括支援センター 管理者 栗田 知子

「いきいきセンターふくおか」は福岡市が設置した高齢者の相談窓口である「地域包括支援センター」の愛称です。

高齢者が住み慣れた地域で安心してその人らしく暮らし続けることができるよう、健康や福祉、介護などに関する相談を受けたり、その人の身体状況に適したアドバイスを行うなど、高齢者が自立した生活を続けていくことができるよう支援しています。

いきいきセンターの設置数は高齢者の数の増加と共に増えており、2015年4月には以前の39センターから57センターに増やして運営しています。センターでは、保健師・社会福祉士・主任ケアマネジャーの資格をもつ専門的なスタッフが相談などに応じます。

いきいきセンターの住所・電話番号・担当区域は各区地域保健福祉課にお尋ねください。

●電話番号

東区	092-645-1087
博多区	092-419-1099
中央区	092-718-1110
南区	092-559-5132
城南区	092-833-4112
早良区	092-833-4362
西区	092-895-7078

相談例

たとえば、こんなご相談に対応しています。

- | | |
|-----------------------------|--------------------------|
| ●介護保険で利用できるサービスを知りたい。 | ●近くで気軽に参加できるサークルを知りたい。 |
| ●オレオレ詐欺にだまされないか不安である。 | ●別居している親が認知症ではないかと不安である。 |
| ●最近物忘れがあり生活に不安がある。
など・・・ | ※どんなことでも、お気軽にご相談ください。 |



利用時間

月～土 午前9時～午後5時

※年末年始・祝日を除く

※土曜日は電話又はセンター内で対応

※上記利用時間外は専用の電話番号をご案内します。



「出張講話」をご活用ください

企画広報委員長 真崎 弘太

順和グループ（医療法人と社会福祉法人）では、これまで、地域住民の方々に対して、当グループの医療・介護の専門職を講師として、研修会や健康講話に派遣する地域活動を行なってきました。

2018 年度も、引き続き出張講話を通して「地域づくり」・「人づくり」の一助となるように活動を行ないます。費用はかかりませんので、是非、ご活用ください。

●出張講話の内容

- 「脳卒中の予防や治療法」
 - 「生活習慣病の予防や治療法」
 - 「介護予防の体操やリハビリ」
 - 「認知症の予防やサポート」
 - 「お薬について」
 - 「栄養管理（高血圧・糖尿病・メタボ）」
 - 「医療・介護の制度」
 - 「検査・画像診断」
- など

●2017 年度の実績

地域の公民館や集会場などにおいて、「ふれあいサロン」「公民館や自治協議会」「福岡市の介護予防教室の卒業生の自主グループ」「地域包括支援センター」「介護事業所・ケアマネジャー」「職場の健康啓発」の企画や集まりで、約 1 時間の講話を 17 件行ないました。

また、地域のイベントに「健康相談コーナー」を出店して、生活習慣病に関する簡易検査（血圧・肥満度・体脂肪率・骨折リスク）と医療・介護のよろず相談に対応させていただいております。



▲管理栄養士による「美味しく食べる高血圧食」



▲健康相談コーナー

●出張講話案内の配布先

公民館・自治協議会・地域包括支援センター・各区のボランティアセンターなど

●ホームページでの確認

「長尾病院」で検索して、「ご利用者の皆様へ」「地域活動」に掲載しています。



「出張講話」のお問合せ・・・窓口：広報企画委員会 真崎 電話：092-541-2035

最新ロボットを活用したリハビリテーション（歩行訓練）

リハビリテーション部 作業療法士 齊場 拓也

●最新のリハビリ支援ロボット

近年、私たちの生活において“ロボット”はより身近なものとなり、家の中を自動で掃除してくれるものから、ホテルで接客をしてくれるものまで誕生していますが、リハビリテーションの分野でもロボットの活用が盛んになっています。

今回は、当院に導入している最新のリハビリ支援ロボット「ウェルウォーク」を紹介します。

●当院も臨床研究に参加して活用

日本を代表する自動車メーカー“トヨタ自動車株式会社”は、自動車技術やIT技術、その他の最先端技術を組み合わせ、様々なロボットを開発していましたが、2007年に藤田保健衛生大学と共同でリハビリ支援ロボットの開発をはじめました。2014年に臨床研究モデルである「歩行練習アシスト」が発表され、全国23の施設で臨床研究が行われました。当院も協力施設として、このロボットを導入し約3年間参加しています。この研究による膨大なデータを基に「歩行練習アシスト」には様々な改良が加えられ、2016年11月に医療機器として承認、2017年秋に「ウェルウォーク」と命名され、レンタル販売が開始されました。当院も2018年2月より研究モデルのロボットから製品版のリハビリテーション支援ロボット「ウェルウォーク」へ切替えていました。

●ウェルウォークについて

この「ウェルウォーク」の主な適応は、脳卒中などによる“下肢麻痺を有する方”で、特徴は運動学習理論に基づき、様々な支援機能を備えていることです。中でも特筆すべき点として、次の3つが挙げられます。



▲「ウェルウォーク」による歩行訓練

「ウェルウォーク」の特徴

- ① ロボット脚が、脚の振出しと膝の曲げ伸ばしをアシストします。
- ② 正面のモニタで、全身や足元の確認をしながら歩くことができます。
- ③ 転倒防止ハーネス（安全ベルト）により、安全性が確保されています。

これらにより、早期から、より自然な歩き方で歩行訓練が行えます。アシスト量を調整することで、細かな難易度設定ができ、最小限の補助と、能動的な訓練が可能となっています。また、脚に装着するロボット脚以外はシンプルな構造と機能となっているため、脳卒中以外の歩行障害にも対応することができます。

当院では既に、脳卒中発症後数年経過し歩容が悪くなった方や、脊髄損傷により対麻痺となった患者様にも使用し、有効性を確認しています。
◎使用にあたっては対象となる条件がありますので、下記窓口へお問い合わせください。

「ウェルウォーク」のお問合せ・・・窓口：足立・吉田・齊場 電話：092-541-2153

2016 年度 “ながお基金” 表彰報告

当法人では、患者様・ご遺族様などからのご寄付を基に設立された“ながお基金”より優れた研究や学会発表などで業績をあげた職員に対して、賞を授与することで医療の質のアップとサービスの向上に役立てております。

2016 年 4 月～2017 年 3 月の受賞者および演題は、次の通りです。

●優秀演題奨励賞

①北村 優（言語聴覚士／リハビリテーション部）
「左後大脑動脈閉塞症による視覚性の認知障害と呼吸障害を呈した一症例」

第 17 回日本言語聴覚学会
(2016 年 9 月／京都)

②谷川 弘樹（言語聴覚士／リハビリテーション部）
「左前頭葉の梗塞で失書と失算を呈した一症例」

第 17 回日本言語聴覚学会
(2016 年 9 月／京都)



▲表彰の様子（左から①北村②谷川③眞玉④青葉）

③眞玉 優美（作業療法士／リハビリテーション部）
「半側空間無視に対するリハビリ支援ゲームの開発とその使用経験」

第 53 回日本リハビリテーション医学会学術集会
(2016 年 6 月／京都)

④青葉 敏恵（准看護師／4 階病棟）
「多職種連携によるオムツ外しへの取り組み」

第 29 回日本老年泌尿器科学会
(2016 年 5 月／福岡)

アビスパ福岡を応援しています

当法人は、2018 年シーズンより日本プロサッカーリーグ（J リーグ）2 部のアビスパ福岡のサポートファミリーの一員になりました。

地元クラブであるアビスパ福岡は、昨季惜しくも J1 昇格プレーオフ決勝で名古屋グランパスと引き分けて昇格はなりませんでしたが、



▲スタジアム内のスポンサー ボード

今季は上位 2 位以内に入り、念願である 2 年ぶりの 1 部昇格に向けて当法人も盛り上げていきます。

皆さんも機会ございましたらレベルファイブスタジアムに足を運ばれてはいかがでしょうか。



▲今季開幕戦の FC 岐阜戦

アクセス・・・地下鉄福岡空港駅からシャトルバスが出ています（徒歩では約 25 分）

長尾病院外来担当一覧表

2018年4月1日現在

		月	火	水	木	金	土	
		午前	石田・山内 福井	江崎・山内・古森 古森	久留島 池之上	松浦・山内 江崎(予約)・石田	久留島・山内 山内	交代制
内 科	糖尿病・甲状腺	午前	淺野・山内	山内	淺野	山内	山内 山内	園木
	糖尿病・甲状腺	午後						
内 科	慢性腎臓病内科 高血圧内科	午前	服部	吉光(予約)	服部	服部(予約)	服部	
	慢性腎臓病内科 高血圧内科	午後						
内 科	甲状腺・内分泌	午前			池之上			
	甲状腺・内分泌	午後						
リウマチ	リウマチ	午前	服部・浅山(予約)		服部・浅山(予約)	服部(予約)・浅山(予約)	服部	
	リウマチ	午後						
内視鏡内科	内視鏡内科	午前			橋本	本多		
	内視鏡内科	午後			笠・橋本	本多		
循環器内科	循環器内科	午前	石田		出石		竹内(予約)※	
	循環器内科	午後			出石	石田	竹内(予約)※	第2・4・5週
脳卒中	脳卒中	午前	服部	古森	服部・久留島	薛	服部・久留島	
	脳卒中	午後		古森				
脳神経内科 (パーキンソン病)	脳神経内科 (パーキンソン病)	午前				井上(尚)		
	脳神経内科 (パーキンソン病)	午後						
脳神経内科	脳神経内科	午前			福井		小西	
	脳神経内科	午後	福井					
リハビリ・整形外科	リハビリ・整形外科	午前	浅山(予約)		浅山(予約)	浅山(予約)		
	リハビリ・整形外科	午後						
痙縮外来	痙縮外来	午前						
	痙縮外来	午後			浅山(予約)	服部(予約)		
リハビリ・高次脳機能障害	リハビリ・高次脳機能障害	午前					服部	
	リハビリ・高次脳機能障害	午後		田川(予約)				
リハビリ・えんげ障害	リハビリ・えんげ障害	午前				薛		
	リハビリ・えんげ障害	午後						
もの忘れ外来	もの忘れ外来	午前					濱田(予約)	
	もの忘れ外来	午後						
フットケア外来 (巻き爪矯正)	フットケア外来 (巻き爪矯正)	午前					竹内(予約)※	
	フットケア外来 (巻き爪矯正)	午後					竹内(予約)※	第2・4・5週

※非常勤医師は4月以降交代の可能性があります。

■ 診療科目

- ◆内科 脳神経内科・神経内科・脳内科・循環器内科
血管内科・糖尿病内科・内分泌内科
腎臓内科・人工透析内科・胃腸内科
内視鏡内科・老年内科
- ◆リハビリテーション科 ◆整形外科 ◆リウマチ科

■ 診療時間

午前 9:00 ~ 12:00 (受付 11:30まで)
 午後 13:00 ~ 17:00 (受付 16:30まで)
 [土曜日/午前中のみ]

■ 休診日

日曜・祝祭日・土曜日午後・盆休み (8月14日、15日)・年末年始 (12月30日~1月3日)



● 基本理念 「一人ひとりのライフステージに応じた 最良の医療・福祉を提供する」

■発行/医療法人順和



長尾病院
老健センターながお
ながお在宅ケアセンター

所在地/〒814-0153 福岡市城南区樋井川13-47-1

電話/092-541-2035 FAX/092-541-2045

ホームページ/ <http://www.nagao.or.jp>

長尾病院

検索

◎誌面へのご意見・ご要望は長尾よかだより編集委員会までお寄せください。